

事業活動実績報告書

施設名	和光幼稚園
教育理念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	運動あそび
2 実施期間	令和 6 年 5 月 17 日 ～ 令和 7 年 3 月 13 日

3 取組概要	<p>(取組日) 令和 6 年 5 月 17 日 ～</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>〈5月：園庭での運動あそび〉 ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン：子ども達は新しい遊具に興味津々。保育者と一緒に、まずは円形状に繋げて遊ぶ(年少児)。今までにないアップダウンの動きにとても楽しむ姿が見られた。バランスストーンは、飛び石のように自分たちで配置して、遊んでいた(年中・年長児)。ウェイブバランス平均台とレインボーバランスストーンは、子ども達が、遊びたい時に自由に使えるように、園庭用と室内用に分けて準備した。</p>	
	<p>(取組日) 令和 6 年 5 月 23 日 ～</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>〈5月：室内(ホール)での運動あそび〉 ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン：自分たちで設置して遊ぶ。遊んでいるうちに、レインボーバランスストーンの間隔を広げていき、飛び移る楽しさを友達と一緒に味わっていた。自然と自分たちで遊びを考えていた。</p>	
	<p>(取組日) 令和 6 年 6 月 3 日 ～ 令和 6 年 7 月 21 日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>〈6月：園庭での運動あそび〉 ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン：年少児が園庭で遊ぶ際は、必ずと言っていいほど誰かが自分で設置して遊んでいる。使い方は、以前に比べて自由に思うがまま並べたり、ラバーリングと組み合わせて道を作ったりして、楽しく遊ぶ中で、考えたり体を動かしたりしている。満3歳児は、レインボーバランスストーンを中心に、サーキットあそびのように配置して楽しむことが増えた。</p>	



(取組日) 令和 6 年 6 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 13 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

〈6月～:室内(ホール)での運動あそび〉

ソフトフォームボール:今年度、年長児は年間を通しての「運動あそび」で「鬼ごっこ」をテーマに活動していた。いろいろな鬼ごっこで遊ぶ中で、子ども達が名付けた「宝鬼ごっこ」。明瞭な色で持ちやすいソフトフォームボールを使って、思考力を使い、協働しながら、体を動かす！ドキドキわくわくの鬼ごっこでした。

ひっくり返しゲーム:年中児は、ひっくり返しゲームで楽しんだ。体を動かし続けるので、体力が必要。回数を重ねると、どうしたら早くたくさんひっくり返せるかを考えながら、体を動かす姿が見られた。



3 取組概要

(取組日) 令和 6 年 9 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 13 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

〈2学期～:室内(ホール)での運動あそび〉

キャタピラー:今年度の運動会、年長の親子競技はキャタピラーを使ったものを企画。子ども達は、保育者と一緒に試してみたり、自分たちで遊んだり…。初めてのキャタピラーにみんな苦戦。イメージのように動けない、難しさ楽しさを同時に味わいながら、挑戦する姿があった。



(取組日) 令和 6 年 11 月 上旬 ~

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

〈11月～:園庭での運動あそび〉

ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン:満3歳児も1パーツずつ自分で運ぶ姿があった。重さのあるものを「運ぶ」ことも幼児にとっては大切な運動である。友達と一緒に作って一緒にあそぶ楽しさを満喫する姿があった。年長児は、じゃんけんゲームを取り入れた遊びに発展させていた。



(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日



(取組日) 令和 7 年 1 月 10 日 ~ 令和 7 年 3 月 13 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

〈3学期～:室内(ホール)での運動あそび〉

キャタピラー:年中児、通常のキャタピラー遊びをした後の自由あそび時間。立って動いたり、仰向けで動いたり、でんぐり返しで前にすすんだり、時には友達を乗せて運んだり。一人ひとりが、思い思いの遊び方を考案して動いたり、動いているうちに思いついたりして遊ぶ姿が見られた。思いつきり体を動かしていた。



3 取組概要

(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

写真添付
(区HPで公開が可能な写真を添付してください)
活動内容が分かるもの
取組に関するもの

(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

写真添付
(区HPで公開が可能な写真を添付してください)
活動内容が分かるもの
取組に関するもの

(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

写真添付
(区HPで公開が可能な写真を添付してください)
活動内容が分かるもの
取組に関するもの

効果検証報告書

施設名		和光幼稚園
教育理念		「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う
事業の区分(5領域)		健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名		運動あそび
2 事業概要		日々の保育や体操教室で活用できる教具を新たに購入し、子どもたちの運動能力のさらなる発達・向上を促進していく。
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 室内や園庭での、運動あそびに関する新しい教具を導入し、運動能力の向上を促進する遊びを、日々の保育(活動や自由遊び)では各クラスの保育者が実施、体操教室では、講師が実施する。今年度より、「運動あそび」をカリキュラムに組み込んでいる。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 本園では、運動あそびは主に園庭で行っていたが、コロナ禍を機に園庭での密を避けるため、室内(主にホール)あそびにおいても運動あそびの充実を目指し、環境を整えてきた。ミニアスレチックやソフトブロックの導入に続き、昨年度はマットやトランポリンなど、子どもの運動能力のさらなる向上に取り組んでいる最中にある。コロナ後も、ホールあそびを、引き続き保育に取り入れている。今回、新たに4種類の運動あそびの遊具を取り入れたことによって、室内あそびの活動中も体を動かす機会がさらに増えた。また、室内に限らず、外遊びにおいても、工夫をしながら体を動かしたり、新しい体の動きを行う機会も増えた。今年度からカリキュラムに組み入れた「運動あそび」は、子ども達の運動能力の向上促進にさらに繋げることができた。
計画時	4 事業のねらい	本園は、「健康」と「表現」の領域を教育の2大柱とし、子どもたちの心身ともに健やかな成長を促すとともに、個性豊かな感性を養っていくことを特色としている。「健康」の保育をより充実させるために、昨年度は室内(主にホール)に新たな教具を導入し、運動あそびの環境を整えたことで、室内においても、今までに体験したことのない体の動かし方や持久力を高めるあそびを増やすことができた。今年度は、室内にとどまらず、園全体の運動あそびの環境を整え、新たな教具を取り入れた楽しい運動あそびを行う中で、子どもたちの運動能力の発達・向上を目指し、身体の動かし方や持久力を高め、身体と心の発達を促進していく。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 幼児期は、動きを獲得していく大切な時期である。本園では、2022年にく幼児期に習得しておきたい36の動き)について園内研修を行い、その際に、本園の園児が幼稚園生活の中でどのような体の動きを行っているのか、またどのような動きがあまり行われていないのかを検証した。その検証をもとに、前年度は大きめのソフト・ブロックを購入し、「つみあげる」、「くずす」、「ささえる」、「はこぶ」の動きをする環境を整え、昨年度の事業では、マットやトランポリンを教具を選び、今までに体験したことのない体の動かし方や、持久力を高めることを目的に、子ども達が楽しく全身運動ができ、運動能力の発達・向上を目指した。今年度は、体の動きにや体幹、持久力に注目した教具を選んだ。子ども達は、自由遊びの中で、楽しみながら、また創意工夫を行いながら、主体的に体を動かす機会が増えた。また、「運動あそび」では、運動能力や持久力の向上とともに、コミュニケーション能力や創意工夫のできる活動、非認知能力を向上させる保育を取り入れることができた。

5 取組の内容	<p>計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等</p> <p>室内(主にホール)や園庭に運動あそびに関する教具を新たに導入し、日々の保育においてさらに多くの運動あそびを楽しく行う。</p> <p>ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン：アップダウンのある平均台は、ピースを自由に組み合わせることで円形にしたり、直線にしたりできる。ストーンは、高さが違い、斜めの角度がついている。大きな平均台とは違い、子ども自身がパーツを組み合わせながら並べることが可能なので、あそびの中で友達と一緒に造形しながら、バランス感覚を培い、体幹を鍛えることに繋げる。</p> <p>ひっくり返しゲーム：一気に大きな力を出すジャンプのあそびを行う。運動量も多い。足や腰を曲げる動きだけでなく、横の動きも体験できる。また、友達といっしょに枚数を競うことで、より長い時間楽しみながら続けることができる。</p> <p>ソフトフォームボール18：柔らかく軽く持ちやすい素材のボールなので、投げやすく当たってもいたくない。形が変形しやすいので、ボールを少し握ってから投げられるので、誰でも投げやすく、変形してもすぐに元に戻る。あたって痛くないので、ボール遊びに参加しやすい。</p> <p>キャタピラー：主に四つ這い移動の動きのあそびを行う。「手をつく」、「転がる」、「這う」、「前転する」の動きを勢いよく行う経験をする。特に「手をつくこと」は、単にからだを支えるだけでなく、動きに合わせて重心を変え、からだをコントロールする役割があると同時に、保護動作でもあり大きなけがから身を守ることに繋がる。友達と競うことで、より前進する力が加わる。</p>
---------	--

事業後 5についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン：平均台とストーンのパーツにラバーリングを加え、自分たちで自由自在に組み合わせながら、年齢を問わず毎日楽しく遊んでいた。遊んでいる中で、アップダウンのある平均台の上を歩いたり、斜めの角度がついたストーンに乗ったり、ラバーリングの円の中をジャンプして、自然とバランス感覚を培い、体幹を鍛えることに繋げることができた。子ども自身がパーツを組み合わせるので、「はこぶ」の運動も行った。また「今日はどんな形に並べようかな」と、友達と協力しながら並べたり、あそびの中で友達と一緒に造形を楽しむこともできた。</p> <p>ひっくり返しゲーム：とにかく運動量が多い。繰り返して足や腰を曲げる動きだけでなく、横の動きも体験できる。また、友達といっしょに枚数を競うことで、より長い時間楽しみながら続けることができる。競う中で、どのようにしたら勝てるかを考えながら行う子もいて、思考力も養うことができる。</p> <p>ソフトフォームボール18：柔らかく軽く持ちやすい素材のボールなので、投げやすく当たってもいたくないので、楽しく遊べる。形が変形しやすいので、ボールを少し握ってから投げられ、誰でも投げやすく、あたって痛くないので、ボール遊びに参加しやすい。色のはっきりしているので、遠くからでもボールを意識することができる。</p> <p>キャタピラー：主に四つ這い移動の動きのあそびを行う。「手をつく」、「転がる」、「這う」、「前転する」の動きを勢いよく行う経験ができる。特に「手をつくこと」は、単にからだを支えるだけでなく、動きに合わせて重心を変え、からだをコントロールする役割があると同時に、保護動作でもあり大きなけがから身を守ることに繋がる。友達と競うことで、より前進する力が加わる。場合によっては、大人と一緒に中に入って楽しむことができる。(年長児の運動会の親子競技でも使用)</p>
--------------------	---

計画時 6 環境構成	<p>室内(主にホール遊び)や園庭あそびの際に、周りの安全環境を配慮した上で、ウェイブバランス平均台、レインボーバランスストーン、キャタピラー、ひっくり返しゲームやソフトフォームボールなどを配置し、年齢にあった「運動あそび」の保育活動の中で活用する。また、日々の自由あそびの中でも子ども達が見ることができる環境を整える。今年度は、体操教室の講師が、体操教室中にこれらを使用した活動を取り入れたりと、講師に自由あそびにも参加してもらい、これらを取り入れたあそびを専門家が一緒に行うことで、より適切に身体を使うことができたり、運動の幅が広がり、子どもたちが体を動かす楽しさを知ることができ、運動あそびをする機会を増やすことで、運動能力のさらなる向上を目指す。</p>
---------------	---

事業後 6についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>室内(主にホール遊び)や園庭あそびの際に、周りの安全環境を配慮した上で、ウェイブバランス平均台、レインボーバランスストーン、キャタピラー、ひっくり返しゲームやソフトフォームボールなどを配置し、年齢にあった「運動あそび」の保育活動の中で活用した。ウェイブバランス平均台、レインボーバランスストーンは、さまざまな遊びの中で子ども達が自由に設置できるよう、園庭用と室内用に分けて環境を整えたことで、日々の自由あそびの中で子ども達はほぼ毎日使用していた。専用ワゴンを設けて、自由に出し入れができ、創作も思い思いにできたので、飽きることなく楽しく遊ぶことができたのだろう。また、体操教室の講師にも、活動中や自由あそびにも参加してもらったことで、専門家ならではの視点で身体を動かす遊びを行うことができ、運動の幅が広がるのと同時に、子どもたちが体を動かす楽しさを知ることができた。</p>
--------------------	--

<p>7 期待される効果 児童の姿</p>	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <hr/> <p>運動あそびで育つスキル・体力・能力として、以下のことが期待される ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・平衡系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 筋力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 創造力をもって主体的・協働的にあそぶ姿も期待できる。 ひっくり返しゲーム 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・操作系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 筋力・協応性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 ゲーム時間を延ばすことで持久力も高まる。 ソフトフォームボール18 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・操作系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 瞬発力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 キャタピラー 乳幼児期 に必要な4つの運動スキル → 移動系・操作系・非移動系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 筋力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 友達と競い合うことで、より前進する力が加わる。</p>
<p>事業後</p> <p>7についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>【幼児期に必要な4つの運動スキルについての検証】 ウェイブバランス平均台・レインボーバランスストーン 移動系運動スキル：あるく・ふむ・とまる・はねる・とぶ・もつ・もちあげる・おろす・ささえる・はこぶ・うごかす 平衡系運動スキル：たつ・かがむ・しゃがむ・わたる・とんでわたる・あるいてわたる 創造力をもって主体的・協働的にあそぶ姿も期待できる。 ひっくり返しゲーム 移動系運動スキル：たつ・かがむ 操作系運動スキル：つかむ・ひっくりかえす ゲーム時間を延ばすことで持久力も高まる。 ソフトフォームボール18 移動系運動スキル：遊び方による 操作系運動スキル：つかむ・あてる・あたる・ぶつける・ぶつかる・とる・うける・うけとる・なげる・ける キャタピラー 移動系運動スキル：はう・はいる・くぐる・かつぐ・もつ・もちあげる・うごかす・はこぶ 操作系運動スキル：あたる・ぶつかる 非移動系運動スキル：おす・ささえる 友達と競い合うことで、より前進する力が加わる。</p>
<p>8 効果検証 総括</p>	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <hr/> <p>本園は、体操教室や乾布摩擦、マラソンを保育に取り入れ、「健康」の領域に特色をもった教育に長年取り組んでいるが、ここ数年はコロナ禍の影響もあり、子どもの体力や運動能力の低下を懸念する状況にある。本園では、運動あそびは主に園庭で行っていたが、コロナ禍を機に、室内(主にホール)あそびにおいても運動あそびの充実を目指し、環境を整えてきた。園内研修では、〈幼児期に習得しておきたい36の動き〉をもとに、本園の園児が園生活や環境において、習得しにくい動きを検証し、今年度は、ウェイブバランス平均台、レインボーバランスストーン、キャタピラー、ひっくり返しゲームやソフトフォームボールを導入し、子どもの動き、運動能力のさらなる向上に引き続き取り組んだ。幼児期は、運動能力のプレゴールデンエイジにあたり、多種多様な動きを経験することで神経系が発達していく、という大切な時期である。新しい4種類の運動教具を購入したことで、身体全体を使った色々な運動ができるような環境を整えることができ、日常のあそびの中で子ども自身が主体的に運動あそびを行い、楽しく生き生きと体を動かすことが増えた。この取り組みは、子ども達が経験を積むことで、さらなる子どもたちの成長と運動能力の向上に繋がるものだと考えており、引き続き子ども達の運動する機会を増やしていきたい。また、この事業は、運動にかかわるものだったので「健康」の領域と申請しているが、効果検証としては、今年度も「健康」のみならず、協調性(人間関係)、協同性、思考力の芽生え、創意工夫、言葉、表現・・・と、あそびの中での運動は、多岐にわたる子どもの成長を促す効果をもたらしていることを実感している。子ども達がどのように興味をもち、主体的にどうかかわっていくかを考えながら、子ども達が、普段の生活の中で、経験し成長発達へと繋げていく環境を今後も整え続け、さらなる運動能力・持久力の向上に繋げていきたい。</p>